

## 「第2回東北電力グリーンボンド」の概要

## ■発行概要

発行年限	10年（予定）
発行額	100億円（予定）
発行時期	2020年9月（予定）
資金使途	再生可能エネルギーの開発、建設、運営、改修に関する事業への新規投資 およびリファイナンスに充当（予定）
主幹事	SMBC日興証券株式会社 みずほ証券株式会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
グリーンボンド・ ストラクチャリ ング・エージェン ト※1	SMBC日興証券株式会社
外部評価	【評価及び検証】 DNV GLビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社（以下、DNV GL）より、下記基準への適合性について検証を受けております。 グリーンボンド原則2018（ICMA）※2 グリーンボンドガイドライン2020年版（環境省）※3 気候ボンド基準 3.0版※4 【認証】 DNV GLからの上記気候ボンド基準 3.0版に対する検証をもって、 厳格な基準を設けるCBIから「気候ボンド認証」※5を得ております。
その他	本グリーンボンドに係る第三者評価の取得については、環境省の2020年度グリーンボンド発行促進体制整備支援事業※6の補助金交付対象となっております。

※1 グリーンボンドのフレームワークの策定および外部評価取得に関する助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行うもの。

※2 国際資本市場協会（ICMA）が事務局機能を担う民間団体である「グリーンボンド原則執行委員会」により策定されているグリーンボンドの発行に係る原則。

※3 グリーンボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに関する具体的な対応を検討する際に参考とし得る、具体的な対応の例や日本の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドを国内でさらに普及させることを目的に、環境省が2017年3月に策定・公表し、2020年3月に改訂したガイドライン。

※4 「気候ボンド基準 3.0版」とは、国際NGOであるCBIがグリーンボンドについて、パリ協定における2℃目標と一致していることを、厳格な科学的根拠に基づいて確認するために策定した国際的な基準。なお、気候ボンド基準では、当該グリーンボンドが対象とするプロジェクトの適格性および資産の適格性の判断において、該当する発電方法別（風力、海洋エネルギー、地熱）の基準を満たしている必要がある。本社債では、第三者評価機関であるDNV GLの検証により、「風力発電適格クライテリア 1.1版」、「海洋エネルギー適格クライテリア」、「地熱発電適格クライテリア 1.0版」および「太陽光発電適格クライテリア 2.1」を満たしていることを確認した。

※5 第三者評価機関により気候ボンド基準への適合性の検証を受けた債券に対しCBIにより付与される認証。

※6 グリーンボンドを発行しようとする企業や地方公共団体等に対して、外部レビューの付与、グリーンボンドフレームワーク整備等コンサルティング等により支援を行う登録発行支援者に対して、その支援に要する費用を補助する事業。

[注] 本プレスリリースは、当社の債券発行に関する情報を公表することを唯一の目的に作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものではありません。